

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年7月16日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年7月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【地下水バイパス揚水井(No. 3)のサンドセパレータ吸入配管フランジ面の腐食について】 協力企業作業員が、地下水バイパス揚水井(No. 3)の点検を行ったところ、サンドセパレータの入口配管フランジ面の一部に腐食を確認。 当該腐食部の状況について、2019年度に実施した点検時の記録と比較して進展はないと判断。また、漏えいも発生していない。 シール面が確保できることから、手入れ後に液状ガスケット(※)を塗布し、復旧予定。</p> <p>※ 液状ガスケット: 配管等内部からの漏れを防止するため、接合面に塗布するシール効果のある流動性のあるシール材</p>	GⅢ	7月12日